

APFED3/03/Doc.8

2003年1月24日

アジア太平洋環境開発フォーラム(APFED)第3回実質会合

2003年1月25日～26日

中華人民共和国、桂林

APFED コミットメント(約束)実施のための論点

はじめに

APFED は WSSD への提言において 3 つのパートナーシップイニシアティブに着手することを約束した。つまり優良政策事例(BPP)の収集と分析、研究者と研究機関のネットワーク構築(NetRes)、能力開発プログラム(CBP)の目録作成である。

2002年5月にバリで開催された WSSD 第4回準備会合のサイドイベントおよび2002年8月開催のヨハネスブルグでの WSSD の並行イベントを通じ、この約束は一般市民に受け入れられ歓迎された(APFED3/03/ref.#)。この約束は WSSD のタイプ2文書におけるパートナーシップイニシアティブの一つとして登録されたことにより、世界に向けての誓約ともなった(APFED3/03/ref.2)。

WSSD 後、事務局は APFED メンバーとその関連機関に対し約束履行のための方策についての意見を求めた結果、APFED3/03/Doc.9 にまとめられた貴重なコメントと提言があった。APFED メンバーの理解と意見は概ね共通しているが、期待した結果を得るために約束を実行に移す上で、APFED メンバーはこれらの約束について共通の理解を更に深めることが望ましい。

.優良政策事例(BPP)についての約束

1.APFED 提言における記述

APFED は科学界や他のステークホルダーとの密接な協力により、「提言」で提案された行動に関する優良政策事例を収集・分析するための新たなイニシアティブ(BPP)に着手する。BPP の成果はアジア太平洋地域の政策立案者にとっての共有財産とするべきである。

2.BPP に関する論点

1)どのように BPP を政策立案者にとって有益な「共有財産」とすることができるか？

共有財産となるためにはどのような事例を BPP として収集するべきか？例えば成功した多目的プロジェクトを含めるべきである。「すべきこと」に加え、「すべきでないこと」を示すことは政策立案者にとって有用である。他の「優良事例集」に比べ政策立案者の注意をひくためには APFED の BPP はどう差異化を図るか？

2)アジア太平洋地域に独自性を示すためにはどのような選定基準を含めるべきか？

アジア太平洋地域におけるユニークなフォーラムからの成果として、BPP はこの地域における多様な文化から生まれたアジア太平洋地域の独自性を示すことが望ましい。伝統的な知見や技術を利用することは「独自性」を示す基準の例となり得る。アジア太平洋地域の独自性を示す基準または事例はあるか？

3)BPP を最終報告書とどのように関連付けるべきか？

APFED の提言によると BPP には提言で奨励されている活動に関する事例を取り上げることとなっている。取り上げる問題に関して、何人かの APFED メンバーが BPP は「最終報告書で焦点を当てる選択された課題に関する事例」を含むべきであるとしている。このように問題を選択し、焦点を当てるべきか？BPP はどのように最終報告書の内容と関連付けられるべきか？

4)BPP はどのように実施されるべきか？

メンバーのコメントを考慮すると、BPP の実施過程には以下の 3 つの選択肢がある。

- a) 事務局がコンサルタントに対し、地域の関連機関との密接な協議を通じて BPP を収集・分析するよう要請する。
- b) 事務局が APFED メンバーに対し情報提供を要請し、BPP の長大なリストを作成し、選択した事例を分析する。
- c) 事務局が直接に地域の関連機関と密接な協議を通じ、BPP に関する情報を収集する。APFED の約束として、事務局は第二の選択肢をとることを提案する。BPP の情報は APFED のメンバーに加え、関係機関や各界関係者（マルチステークホルダー）会合の出席者によって提供される。メンバーから提出された情報のとりまとめと分析は関連団体及び機関との協力の下に事務局によって行われる。マルチステークホルダー会合と専門家会合は BPP 評価のために適宜開催される。BPP の収集分析のために考慮すべき他の効果的な方法やヒントがあるか？事務局から提案された情報提供様式（別紙 1 及び 2）と作業計画（別紙 3）に対してコメントがあるか？

5)APFED 後、BPP をどのように継続するべきか？

2004 年末の APFED の作業終了後の BPP の有用性と効果を保持するための効果的方策はどのようなものがあるか？ APFED 終了後、BPP を役立つものにするために NetRes が果たすことが出来る役割は何か？

< 素案 >

APFED の優良事例：情報提供様式

1.トピックの範囲	淡水、再生可能エネルギー、貿易、資金調達、都市化
2.使用したツール、措置	法的手法 経済手法 新規/適切な技術 自主規制 市民の意識向上 その他(詳しく記入して下さい) 2 つ以上のツール/措置を組み合わせる場合(詳しく記入してください)
3.表題	プロジェクト・政策・イニシアティブの名称
4.地域/国	プロジェクト・政策・イニシアティブが実行される地域・国
5.期間/年	プロジェクト・政策・イニシアティブの期間またはプロジェクト・政策・イニシアティブの開始年・終了年/終了予定年
6.連絡担当者	氏名 所属
7.連絡先住所	住所 電話番号 fax e-mail
8.資金	以下の項目を記入してください： 1)費用総額 2)資金源 3)実施のための資金調達・維持への取り組み(あれば)
9.事例の詳細	
セクションA:背景と目的	プロジェクト開始以前の社会・経済・環境上の状況について説明してください。ここでは直面した問題について(出来れば原因も)明確に説明してください。
セクションB:事例・活動の概要	以下の事項を含め、問題改善のためとった措置(事例)の概要を説明してください。 1)事例の目的(意図・対象者) 2)事例の概要(何をどのようにしたか?) 例 -新しい技術を取り入れることで農業生産性を高めた -これまで利用されていなかった地区の資源を活用することで収益を改善した -市民の意識向上により地区環境を改善した -新たなルールを設けることによって天然資源をより有効に利用した 3)関係者、意思決定過程
セクションC:結果・成果	以下の事項を含め、事例の結果を説明してください 1)改良点・変化 2)解決されず、残された問題点 3)プロジェクト開始前には予想しなかったプラスまたはマイナスの影響

	<p><u>例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> -同時に様々な面で多角的な効果を達成 -最低限の時間と資金で期待通りの成果を得た -持続可能な開発の要素を統合した -関連ステークホルダーの/または機関/組織の能力を高めた
10.成功の鍵(失敗の原因)	<p>成功へと導いた鍵となる要素および/または政策ツールについて説明してください</p> <p><u>例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> -異なる関係者間の連携強化および/または協議体制の導入/改善 -ジェンダーの衡平、社会的参加、経済・社会上の移動性を促進 -地区住民の自発的参加 -伝統的な/土着の方法を変えた(例：以前は使われなかった地区資源を持続可能な方法で利用した) -関係者/機関の能力向上 -社会における優先事項の変更 -経済政策手段の導入(例えば新たな税制の導入、効果的なコスト回収法の導入) -新しくて帰依的に利用可能な技術の導入 -異なった政策ツールの組み合わせ
10.評価	<p>以下の項目を含め、全体の評価について説明してください</p> <ul style="list-style-type: none"> -実効性 -費用便益 -持続可能性 -社会、経済、環境、文化の観点の統合度合い -透明性/説明責任(アカウンタビリティ) -長所と短所
11.適用可能性	<p>当該プロジェクト・政策・イニシアティブが他の国/地域でどのように再現され得るか?以下のように説明してください</p> <ul style="list-style-type: none"> -プロジェクトを可能にした社会・経済・文化・環境における状況 -実施過程の簡便さの程度
12.参考資料	<p>当該プロジェクト・政策・イニシアティブに関する入手可能な出版物やその他の関連情報</p>

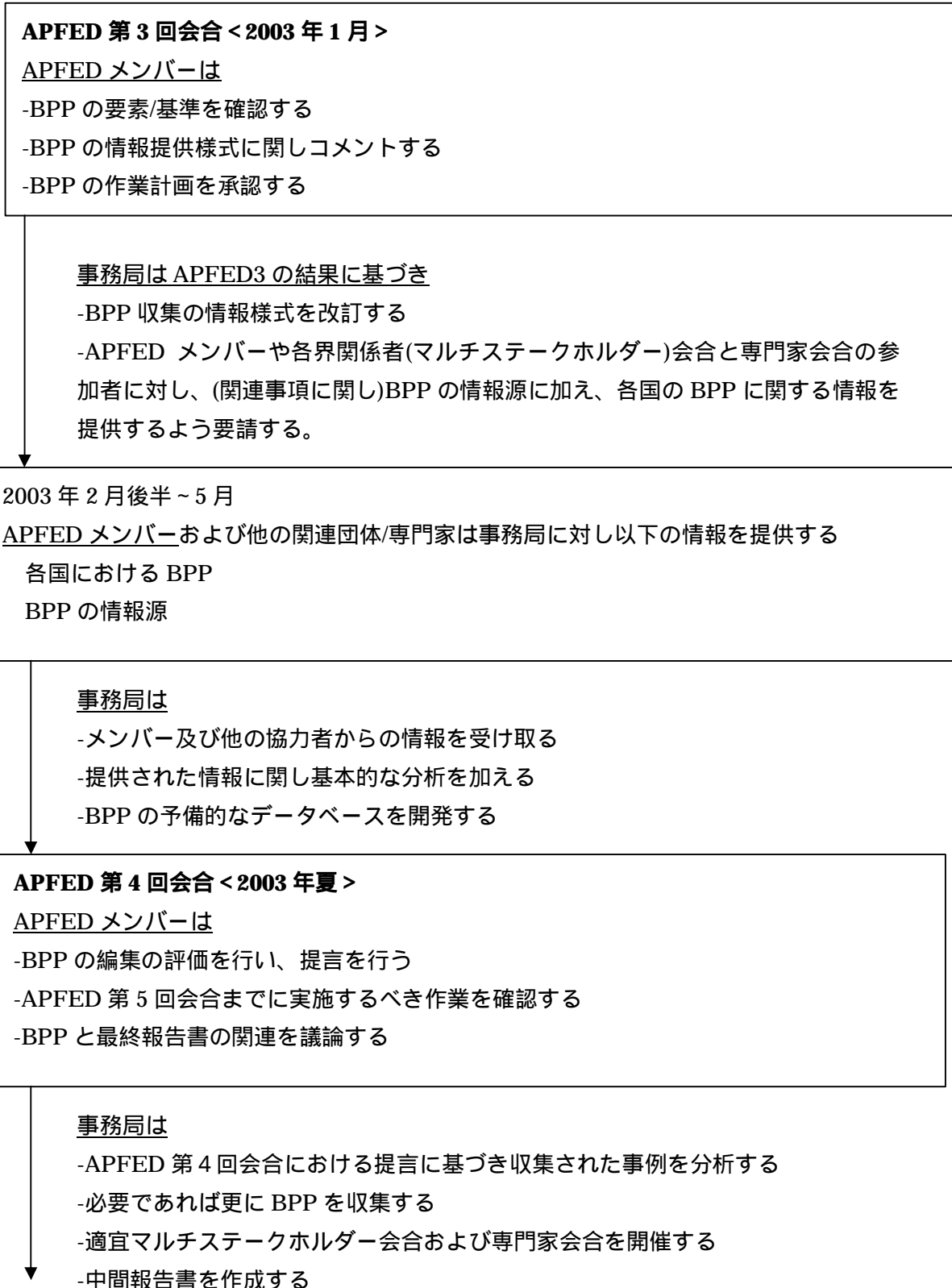
< 素案 >

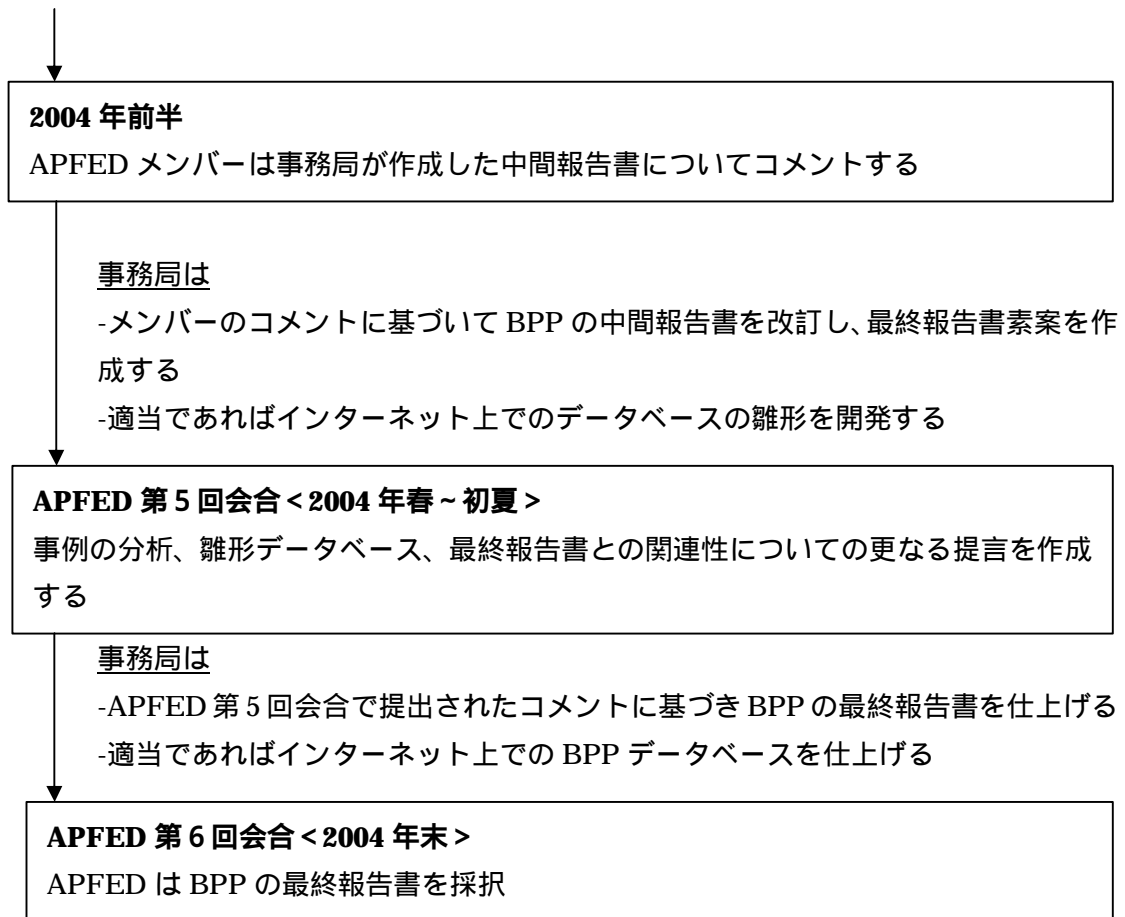
APFED に向けての優良事例の情報源に関する調査表

1. トピックの範囲	淡水 再生可能エネルギー 貿易 資金 都市化
2. 情報の種類	出版物 プロジェクト情報 BPP 情報提供者/組織 その他(詳細を記述してください)
3. フォーカル ポイント (情報提供者)	
氏名	Prof./Dr./Mr. Ms
組織名	
肩書き	
連絡先住所	住所 電話番号 fax e-mail
4. 情報の詳細	BPP に関し、フォーカルポイントが有する情報を出来るだけ詳しく書いてください。 (注) -情報源が書籍/報告書の場合、出版物の名称を記入してください。 -情報源が目下進行中の/既に終了したプロジェクトの場合、プロジェクトの名称 -情報源が個人/組織の場合、どのような情報の提供出来るか
5. 当情報の提供者	氏名 組織名 肩書き 連絡先住所 電話番号 fax e-mail

BPP の作業計画素案
(オプション(b)に基づく)

APFED3 の結果に対応





(注・データベースをインターネット上で公開する。)

.研究者/研究機関のネットワークについての約束(コミットメント)(NetRes)

1.APFED 提言の詳細

APFED は 2004 年未までに政策提言を盛り込んだ最終報告書編纂作業を引き続き行う。**APFED の最終成果の一部として** APFED は関連の国際機関および/または政府間組織と密接な協力のもと、研究者および研究機関のネットワークを構築する。**NetRes の重要な機能の一つは、本地域の政府の政策と措置についての最終報告書における APFED の提言を実行に移すための政策提言を作成することである。**

2.今後の論点

NetRes の実施計画は最終報告書の起草過程着手後に議論されるべきである。というのも NetRes の開発過程は最終報告書の起草過程にかかっているからである。以下が今後考慮すべき点である。

1)ネットワーク構築：

- 効果的な政策提言作成のためにネットワークはどのような要素を提供すべきか？
- NetRes は APFED 最終報告書に含まれる各問題(テーマ/トピック)ごとに構成するべきか？

2)ネットワークの構成要素：

- 研究者と研究機関のほかにステークホルダーも含めるべきか？(例えば民間部門)
- アジア太平洋地域外の専門家を含めるべきか？

3)ネットワーク強化のための要素

- APFED 終了後、他の組織との「密接な協力」を確保するための効果的なやり方はあるか？

4)ネットワーク維持のための資金

- ネットワーク維持のための資金をどのように確保するか？

.能力開発プログラム(CBP)の目録についての約束(コミットメント)

1.APFED 提言の詳細

APFED はアジア太平洋地域における能力開発プログラム(CBP)目録を作成し、その情報を研修を必要とする者、機関に配布する。

2.論点

CBP は次の二つの目標を持つべきである。すなわち(a)利用者が能力開発のニーズを明らかにすることを助けること、(b)利用者のニーズにもっとも効果的に見合うイニシアティブがどのようにまたどこにあるのかについてのガイダンスを利用者に提供すること、である。APFED 3 が終了後直ちに、APFED 事務局はメンバーからの助言を考慮しつつ、CBP に関する情報収集を、協力関係機関と開始する予定であり、その結果は APFED4 に報告

される。また、事務局では既存の能力開発プログラムの長所と短所を検討中であり、情報提供の効果的な方法を検討中である。以下に掲げる論点は、APFED メンバーを含む CBP に関する潜在的な協力機関(者)との初期的な議論のために事務局が用意したものである。時間的な制約から APFED3 で本件について議論することが難しいため、事務局では、APFED3 後に APFED メンバーのコメントを更にいただきたいと考えている。

1)能力開発プログラムの範囲

- 潜在的な利用者のニーズに応えるために、どのような情報が提供されるべきか
(例)トピック、訓練の形態、研修期間等
- 能力開発プログラムを提供する側のニーズに基づいたものから、プログラムの受講者のニーズに基づいたものとするために、いかに CBP をいかに開発することができるか？

2)最終成果のイメージ

利用者に使いやすいものとするために、どのような情報提供システムが必要か？

3)目録作成の方法

- 能力開発プログラムの提供者及び利用者、双方のニーズをに井アクセスするための効果的な方法にはどのようなものがあるか？
- 関連ステークホルダーとの協調をどう確保するか？
- プログラムの提供側が効率的かつ効果的に能力開発を促進するために、CBP はいかにプログラム提供者間の連携を促進できるか？